

主要産地における平成28年産水稲の生育状況等について 第6報 (6月30日現在)

作成：公益社団法人穀安定供給確保支援機構情報部 (平成28年7月1日)

道府県	区分	生育状況等	
		育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体公表資料の抜粋)	同左及び周辺事象に対する自治体公表資料等(抜粋)
北海道	(生育)	<p>(全道) 生育は年並(±0)。草丈は28.6cmで年並、葉数は6.6枚で年並、茎数は189本/m²で年並より少ない。 (北海道農政課 6月15日現在)</p> <p>(空知) 6月上旬の低温や日照不足により、生育は停滞した。分けつ始は6月6日。草丈は30.0cmで年並、葉数は6.8枚で年並、茎数は203.4本で年並。 (空知総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(石狩) 低温・日照不足により、生育が緩慢(早2日)。草丈は22.7cmで年並、葉数は5.8枚で年並、茎数は151.0本で年並。 (石狩総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(後志) 分けつ始は6月12日。草丈は24.9cmで年並、葉数は5.8枚で年並、茎数は136.0本で年並。 (後志総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(胆振) 生育は年並(±0日)。草丈は25.9cmで年並よりやや長く、葉数は5.7枚で年並より少なく、茎数は122.4本で年並。 (胆振総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(日高) 生育は年並(早1日)。草丈は27.3cmで年並、葉数は6.3枚で年並、茎数は132.5本で年並より少ない。 (日高総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(渡島) 生育は年並に推移。分けつ始は6月9日(早1日)。草丈は27.8cmで年並より長く、葉数は6.0枚で年並、茎数は190.0本で年並より少ない。(渡島総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(檜山) 最高気温が低く日照不足、茎数が少ない(遅2日)。草丈は23.7cmで年並、葉数は6.2枚で年並、茎数は102.7本で年並より少ない。(檜山振興局 6月15日現在)</p> <p>(上川) 生育は年並に推移している。分けつ始は6月3日(遅2日)。草丈は29.5cmで年並よりやや短く、葉数は7.0枚で年並よりやや少なく、茎数は216.0本で年並より少ない。(上川総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(留萌) 6月上旬の低温と日照不足により生育は鈍化し、年並となった(早1日)。分けつ始は6月2日。草丈は31.5cmで年並、葉数は6.9枚で年並、茎数は170.0本で年並より少ない。(留萌総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(オホーツク) 低温寒害により生育は緩慢である(遅2日)。分けつ始は6月12日。草丈は25.5cmで年並よりやや短く、葉数は5.4枚で年並よりやや少なく、茎数は123.7本で年並より少ない。(オホーツク総合振興局 6月15日現在)</p>	<p>・7月の葉いもち(葉いもち)の発生量はやや多いと予想。コバネイナゴ類とアカヒゲホソミドリカスミカメの発生量は年並。ニカメイカ、イネドロオムシ、フタオビコヤガの発生量はやや少ないと予想。 (北海道病害虫防除所 6月30日公表)</p>
青森	(生育)	<p>・6月20日現在の生育状況 県生育観測では、草丈・葉数・茎数とも年並を上回った。 農林総合研究所作田では、つがるロマン(黒石)は、草丈が年並を上回り、葉数・茎数は年並を下回った。ましろぐら(十和田)は、草丈・葉数とも年並を上回った。 (青森県 6月24日付)</p> <p>(黒石) 6月20日現在の「つがるロマン」の生育状況は、草丈が37.2cmで年並より0.5cm長く、株当たり葉数は17.4本で年並より0.4本少なく、葉数は7.5葉で年並より0.2葉少なかった。「青森の露露」の生育状況は、草丈が42.1cmで年並より2.0cm長く、株当たり葉数は17.7本で年並より0.3本少なく、葉数は7.1葉で年並より0.2葉少なかった。 (十和田) 6月20日現在の「ましろぐら」の生育状況は、草丈が47.0cmで年並より3.0cm長く、株当たり葉数は20.2本で年並より5.5本多く、葉数は8.1葉で年並より0.6葉多かった。 (青森県産業技術センター-農林総合研究所 6月21日付)</p>	<p>・7月の葉いもち、稲こうじ病はやや多いと予想。コバネイナゴはやや少ない。斑点米カメムシ類(アカヒゲホソミドリカスミカメはやや多い)フタオビコヤガはやや少ないと予想。 (青森県病害虫防除所 6月29日公表)</p> <p>・イネミスゾウムシの発生は「やや多い」と予想 (農林水産省 6月21日付)</p>
岩手	(生育)	<p>・6月24日現在、農業研究センター(北上)の「ひとめぼれ」、「あきたこまち」とも、草丈は年並を上回り、葉数は年並を下回っている。葉数は「ひとめぼれ」で年並を上回り、「あきたこまち」で年並と同等。葉色(SPAD値)は、「ひとめぼれ」、「あきたこまち」とも、年並を上回っている。県北農業研究所(軽米)の「いわてっこ」は、草丈、葉数、葉色、葉色(SPAD値)とも年並を下回っている。 (岩手県農業研究センター 6月27日付)</p> <p>・6月15日現在、県全体の生育は、草丈29.8cmで年並より0.7cm短く、葉数は273本/m²で年並よりやや多い(年比105%)。葉数は7.0葉で年並(年差-0.1葉)。 (岩手県 6月16日付)</p>	<p>・7月の葉いもちの発生量は年並、紋枯病の発生量はやや多く、稲こうじ病の発生量はやや少ないと予想。斑点米カメムシ類(アカシジカスミカメ)第1世代の発生時期はややく、発生量は年並。コバネイナゴの発生量は年並。フタオビコヤガ第2世代の発生量はやや少ないと予想。 (岩手県病害虫防除所 6月29日公表)</p>
宮城	(生育)	<p>・6月20日現在、生育は概ね順調であり、葉数(年差+0.4枚)から見ると年並に比べて2~3日程度進んでいると思われる。草丈は38.8cm(年比106%)、1m当たり茎数は406本(年比105%)であった。(県全体の平均) (宮城県 6月21日付)</p> <p>(大河原) 6月20日現在の管内の生育調査は、草丈、葉数、葉色などは、全般的に年並となっており、葉数は年並より少ない傾向にあるが、平坦部では、概ね有効葉数に達している。湛水直播栽培の普及と展示畑の生育は、草丈、葉数は年並を上回る生育、葉数もやや早い傾向で進んでいる。(大河原農業改良普及センター 6月20日付)</p> <p>(大崎) 6月20日現在、生育は概ね順調に進んでいると思われる。草丈は、年並に比べてほぼ年並~長い傾向にある。葉数は、西部平坦部のササニシキ及び西部丘陵のまなむすめ、山間高冷のやまのしずくは、年並に比べ多く、一方北部平坦及び西部丘陵のひとめぼれは県全体の傾向と異なり、年並に比べ少ない。葉数は、ほぼ年並~やや多い傾向にある。葉色は、全ての地帯・品種において、年並に比べ濃い傾向にある。 (大崎農業改良普及センター 6月22日付)</p> <p>(美里) 6月20日現在、生育は概ね順調で、葉数からみると年並に比べて2~3日程度進んでいるとみられる。 (美里農業改良普及センター 6月23日付)</p> <p>(栗原) 6月20日現在のひとめぼれは、葉数は年並より多く(年差+0.5枚)、生育は年並より3日程度進んでいる。葉数は年並より多く(年比13%)、すでに有効葉数(480~500本/m²)を確保したほ場がある。草丈はややく(年比104%)、葉色は年並より多い(年比109%)。(栗原農業改良普及センター 6月23日付)</p> <p>(登米) 6月20日現在、年並に比べ、草丈はややく(年比102~121%)、葉数は多く(同比114~141%)、葉数はやや多め(年差+0.3~+0.8枚)、葉色はほ場にバラツキがあるがやや濃い(同差-0.2~+0.6)。葉数から、生育は3~5日程度進んでいる。直播栽培は、年並に比べ、草丈はややく、葉数は多く、葉数は多めに推移し、生育は5日程度早い。葉色についても濃めに推移している。ほ場によっては、イネミスゾウムシなどの食害がみられる。 (登米農業改良普及センター 6月23日付)</p> <p>(本吉) 6月20日現在、気仙沼市(ひとめぼれ)では、年並と比較して草丈は年並、葉数は少なく、葉数は多く、葉色は年並より多くなっている。葉数は、年並より少ないものの前回の約半に達しており、生育は順調。南三陸町(ササニシキ)では、年並と比較して草丈はほぼ年並、葉数はやや多くなり、葉色は濃くなっている。葉数は、必要葉数(約450本/m²)を確保した。西生育ほとも、生育の傾向は前同とほぼ同様で、年並よりやや進んでいる。管内の水稲はおおむね順調に生育しており、必要葉数を確保したほ場も見受けられる。 (本吉農業改良普及センター 6月21日付)</p> <p>(仙台) 6月10日現在、葉数が年並の同時期よりも1割程度多い傾向。特に、ササニシキでは、葉数が多くなっている。 (仙台農業改良普及センター 6月13日付)</p> <p>(亶理) 6月10日現在、葉数は前年並み、草丈は前年より高くなる傾向がみられる。乾田直播栽培では、苗立ち率は良好で初期にはほぼ年並、葉数も年並程度で推移している。葉数は10程度となっている。湛水直播栽培でも播種後の苗立ち率は高くなっている。(亶理農業改良普及センター 6月13日付)</p>	<p>・7月上旬までの葉いもちの発生量は年並、コバネイナゴの発生時期はややく、発生量はやや多いと予想。 (宮城県病害虫防除所 6月22日公表)</p> <p>・ヒメトビウカの発生は「やや多い」と予想 (農林水産省 6月21日付)</p>
秋田	(生育)	<p>(鹿角) 6月24日の定点調査では、草丈が38.6cm(年比102%)でやや長く、葉数が488本/m²(年比97%)でやや少なく、葉数が8.5葉(年差-0.3葉)とやや少なかった。葉色はSPAD値で46.3(年比103%)でやや高くなった。 (6月24日付)</p> <p>(山本) 6月24日の水稲定点調査ほ場(管内9地点)における生育状況は、草丈40.3cm(年比109%)、葉数401本/m²(同比101%)、葉数6.7(同差+0.1葉)、葉色44.1(同比101%)となっている。(6月24日付)</p> <p>(由利) 6月10日現在の調査結果(3品種・移植8か所平均)は、草丈は27.5cmで年並よりやや長く、葉数は1049枚、1mあたり葉数は212枚で年並より多く(年比107%)、葉数は6.6葉(年差0.4葉)で生育は年並よりやや早まっている。移植栽培では分けつが順調に発生し、生育は良好。(6月17日付)</p> <p>(秋田) 6月10日現在、あきたこまち(10地点平均)の草丈は28.0cm(年比109%)、1m当たり茎数は216本(年比127%)、葉数は6.9葉(年差+0.5)と生育は年並よりやや早く進んでいる。(6月17日付)</p> <p>(北秋田) 6月10日現在のあきたこまちは、草丈27.4cm(年比107%)、葉数200本/m²(年比100%)、葉数6.6葉(年差+0.3)。葉数から見た生育は、年並より2~3日程度進んでいる。(6月17日付)</p> <p>(雄勝) 6月10日現在、あきたこまち(管内ほ場8か所平均)の草丈は24.7cm(年比102%)、葉数は110本/m²(年比97%)、葉数は5.8枚(年差+0.1)となっている。(6月17日付)</p> <p>(平鹿) 6月10日の調査結果(あきたこまち11か所)では、草丈が21.9cm(年比93%)、葉数が102本/m²(年比85%)、葉数が5.7葉(年比+0.1葉)となっている。(6月13日付)</p> <p>(仙北) 耕起作業は5月10日現在で83.5%(年比83.1%)の進捗となっている。4月下旬の降雨等により、耕起作業に若干遅れが見られたものの、作業は概ね順調に進んでいる。直播栽培の播種作業は今週末に盛期を迎える見込み。(5月13日付) (秋田県農政課)</p>	<p>・イネミスゾウムシの発生は「多い」、斑点米カメムシ類の発生は「やや多い」と予想 (農林水産省 6月21日付)</p> <p>・6月の葉いもちの感染量は年並、ばか病の発生量は年並の予想。 イネミスゾウムシの発生時期は早く、発生量は多いと予想。 斑点米カメムシ類の発生時期は早く、発生量は多いと予想。 イネドロオムシの発生量は少なく、イネキマフバとニカメイカ、フタオビコヤガの発生量はやや少ないと予想。 (秋田県病害虫防除所 5月29日公表)</p>
山形	(生育)	<p>・6月20日現在、平坦部「はえぬき」の生育は、年並と比較して、草丈がやや長く、葉数、葉数、葉色は年並みとなっている。生育は年並より1日程度早まっている。 「つや姫」の生育は、年並と比較して、草丈、葉数、葉色は年並みで、葉数は年並よりやや少なく、概ね指標値となっている。 (オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月20日付)</p> <p>(最上) 6月20日現在、管内の生育は概ね年並みからやや進んでいる。葉色が濃く、葉数過剰が懸念されるほ場もみられる。 (農上総合支庁農業技術普及課 6月24日付)</p> <p>(北村山) 6月20日現在、生育は年並より2~3日進んでいる。m²葉数は昨年より少ないものの、必要な本数は確保されている。 (北村山農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(酒田総合) 6月20日現在の生育は順調。生育診断圃の「はえぬき」と「ひとめぼれ」は、葉数は年並、草丈は長く、葉数は年並で、目標葉数が確保され、順調に生育している。(酒田農業技術普及課 6月23日付)</p> <p>(鶴岡田川) 6月20日現在、葉数が年並より進み、草丈は長く、葉数は年並、葉色は濃い生育となっている。過剰生育が予想される。(区内総合支庁農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>6月10日現在、直播栽培の生育は、昨年よりも遅れているものの、概ね指標値の生育となっている。 (区内総合支庁農業技術普及課 6月14日付)</p> <p>(東南村山) 6月20日現在の「つや姫」の生育は、葉数は前年よりやや少ない傾向にあるが、全般的に必要な葉数は確保されている。(村山総合支庁農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(東南置賜) 6月20日の生育は、草丈はややく、葉数は年並み~やや少なく、葉色はややく濃い状況。地域、品種、ほ場の生育のバラツキが大きい。(置賜地域本部要覧 6月22日付)</p>	<p>・7月の葉いもち、紋枯病の発生量は年並、斑点米カメムシ類の発生量は年並、フタオビコヤガ(アザナ)第2世代、コバネイナゴの発生量はやや少ないと予想。 (山形県病害虫防除所 6月29日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生は「やや多い」と予想 (農林水産省 6月21日付)</p>
福島	(生育)	<p>・6月14日現在の農業総合センターの生育調査では、本郡(郡山)と会津地域研究所(会津坂下)で草丈、葉数ともに年並、浜城地域研究所(相馬)で草丈、葉数ともに年並を上回っている。主幹葉数は、年並から多くなっている。 (福島県農林水産部 6月16日付)</p>	<p>・7月の葉いもち類(葉いもち)の発生量は年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予想。 (福島県病害虫防除所 6月29日公表)</p> <p>・注意報-斑点米カメムシ類の発生量が県内全域でやや多いと予想 (福島県病害虫防除所 6月29日公表)</p>

	生育状況等	同左及び周辺事情に対する自治体公表資料等（抜粋）
茨城	<p>(水戸市) 6月20日現在、5月2日に移植した「あきたこまち」は、幼穂の発育程度および積算平均気温から予測される出穂期は7月16～17日で平年並～1日遅い。主穂葉数の展開からみた「コシヒカリ」の生育は平年並。平年と比べ、草丈は「あきたこまち」でやや短く、「コシヒカリ」で短い。葉数は「あきたこまち」で並、「コシヒカリ」でやや少ない。葉色は「あきたこまち」で淡く、「コシヒカリ」でやや濃い。</p> <p>5月10日に移植した「コシヒカリ」は、主穂葉数の展開からみた生育は平年より1日遅い。平年に比べ草丈はやや低く、葉数は多く、葉色は並。(6月21日付)</p> <p>(龍ヶ崎市) 6月16日現在、4月27日に移植した「あきたこまち」は、幼穂が0.5mm確認でき、幼穂長から予測される出穂期は平年並で、7月14日頃(今後気温が平年並に推移した場合)。「コシヒカリ」の主穂葉数の展開からみた生育は平年より4日早い。平年に比べ、商品種の草丈はやや長く、葉数は「あきたこまち」で多く、「コシヒカリ」でやや多い。また、葉色は「あきたこまち」で淡く、「コシヒカリ」は並。</p> <p>5月1日に移植した「あきたこまち」は、「コシヒカリ」の主穂葉数の展開からみた生育は、平年より2日程度遅い。平年に比べ、商品種の草丈は長く、葉数は多く、葉色は並。(6月21日付)</p> <p>(茨城県農業総合センター農業研究所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イネミズゾウムシの発生が「やや多い」と予報(農林水産省 6月21日付) ・注情報—イネ緑葉枯病(ヒメトビウカ)の発生量が県西地域、県南の一部地域で多いと予報(茨城県病害虫防除所 6月9日公表) ・6月の緑葉枯病(ヒメトビウカ)は、県西地域と県南の一部地域で平年より発生時期が早く、発生量は多いと予報。コカイイガは、県下全域で発生時期が早く、発生量は多いと予報(茨城県病害虫防除所 5月31日公表)
栃木	<p>(生育) 6月22日現在、早稲栽培コシヒカリの生育状況(16か所平均)は、草丈は長く(平年比106%)、葉数は平年より少ない(92%)、葉齢は0.2多く、葉色は0.3濃い。葉齢から判断して、生育は1～2日程度遅進していると考えられる。生育診断値(葉色×葉数)は平年比87%と小さい。</p> <p>6月23日現在の出穂期予測は、平均気温が平年並で経過した場合、早稲コシヒカリ(5月4日移植)の出穂期は、宇都宮市(7月27日～28日)、大田原市(8月1日～2日)とも平年より5日程度早いと推定される。(栃木県農政部 6月24日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑葉枯病、ヒメトビウカの発生が「やや多い」と予想(農林水産省 6月21日付) ・6月下旬～7月下旬の緑葉枯病の発生量は多いと予報(栃木県農業環境指導センター 6月17日公表) ・注情報—イネ緑葉枯病が、県中南部地域で発生量が多いと予報。一部地域でコカイイガの多発生を懸念。第1世代幼虫の防除時期は、6月上旬～中旬と予報(栃木県農業環境指導センター 6月1日公表)
埼玉	<p>(生育) 6月1日現在、早期栽培(5月2日種 コシヒカリ)の苗の徒長などは見られず、概ね平年並の苗が得られた。活着は良好。初期生育は良好で、移植後20日調査では、葉位の進展は早く、生育量も平年を上回った。移植後30日調査では、やや抑制気味となったが、概ね平年並の順調な生育である。早稲栽培(5月20日種 彩のかがやき)は、充実度の高い良苗が得られた。活着は良好であり、その後の生育も順調。県内全般の早期栽培では、活着は良好で初期生育は順調。早稲栽培では5月中旬以降、苗の生育遅れから移植が遅れ気味となったが、概ね前年並に達し、活着は良好で初期生育は順調。(埼玉県農業技術研究センター 6月1日現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7月の緑葉枯病の発生量は多く、葉いもち、緑葉枯病の発生量はやや多く、紋枯病の発生量は平年並の予報。ヒメトビウカ、ツマゴロヨコバエ、イネトムシ(第2世代幼虫)、セジロウソウカ、斑点米カメムシ類の発生量は多いと予報。イネオオムシ(第3世代幼虫)の発生量は少ないと予報(埼玉県病害虫防除所 6月29日公表) ・緑葉枯病の発生が「多い」、ヒメトビウカ、いもち病の発生が「やや多い」と予想(農林水産省 6月21日付)
千葉	<p>(生育) 6月15日現在、4月20日頃に植付した各品種は、平年と比較して3日程度早く生育しているが、生育量は平年並となっている。ただし、植付直後に強風や一時的な低温であった場合は生育差が見られている。(千葉県農林水産部 6月17日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・向こう1か月の病害虫の発生量は、いもち病(葉いもち)は平年並、イネドロオオムシは少なく、イネウロカメムシとヒメトビウカはやや多く、セジロウソウカとコカイイガは平年並の予報(千葉県農林総合研究センター 6月9日公表) ・5月下旬に行った調査では、16地点でヒメトビウカ成虫が捕獲され、過去11年で昨年次に2番目に多く、7地点は県北西部で合った。(千葉県農林総合研究センター 6月9日公表)
新潟	<p>6月20日現在、コシヒカリは、県平均では指標値に比べ、葉数の進みはやや早く、草丈は長い。葉数は多く、葉色はやや濃い状況。こしいぶきは、県平均で指標値に比べ、葉数の進みは早く、草丈は長い。葉数は多く、葉色はやや濃い状況。コシヒカリの県内15か所の平均値は、草丈42cm(指標値比114%)、葉数444本/m²(同比119%)、葉齢9.1葉(同差+0.7葉)、葉色(SPAD値)39.8(同差+1.4)。(新潟県農林水産部 6月21日付)</p> <p>(糸魚川) 6月20日現在、多くのほ場では目標穂数以上の葉数がすでに確保されている。コシヒカリの生育は、指標値に比べ草丈は並、葉数は多く、葉色は並。こしいぶきは指標値に比べ草丈は長く、葉数、葉数は多く、葉色は濃い。現時点の予想では、出穂期は平年に比べて2日程度早くなる見込み。(糸魚川地域農林振興部 6月21日付)</p> <p>(佐渡) 6月20日現在のコシヒカリの生育は、草丈は長く、葉数は多め、葉色は濃い。草丈は43cm(指標値比116%)、葉数は142本/m²(同比114%)、葉数は7.7葉(同差+0.1葉)、葉色は41.1(同差+2.1)。(佐渡農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(新発田) 出穂は、早生、コシヒカリともに平年より2日程度早いと予想。(新発田農業普及指導センター 6月24日付)</p> <p>6月20日現在、生育は指標に比べ4日程度遅進している。草丈は長く(40cm 指標値比117%)、葉数は多く(414本/m²同比118%)、葉数はやや多く(8.9葉 指標値+0.6葉)、葉色は濃い(葉緑素計40.6 同差+3.1)。(新発田農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(新潟) 出穂期は、早生より1日早く、草丈は長く、葉色も濃く、品質低下が懸念される。早生の出穂は前年並に早く、平年より2日程度早まる予想。目標値と比べて、コシヒカリの生育は、草丈：長、葉数：多、葉齢：並、葉色：濃。こしいぶきの生育は、草丈：長、葉数：やや多、葉齢：早い、葉色：濃。新潟之助の生育は、草丈：長、葉数：やや多、葉齢：並、葉色：濃。(新潟県農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(巻) 6月20日現在、草丈は長く、葉数は多い。葉数は早く、葉色は平年並～やや濃い。生育が進んでいるため、早生の出穂は平年に比べて4日程度早まる見込み。(巻農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(三条) 6月30日現在、コシヒカリの出穂は2日程度早まる予想。コシヒカリは倒伏懸念も。(三条農業普及指導センター 6月30日付)</p> <p>6月24日現在、各地で幼穂を確認。早生の出穂は平年比で3日程度早まる予想。(三条農業普及指導センター 6月24日付)</p> <p>(上越) 6月20日現在、生育は好転まで、過剰生育による品質低下が懸念される。出穂期は、早生・中生とも平年に比べ1～2日程度早まる見込み(前年並み)。(上越農業普及指導センター 6月22日付)</p> <p>6月20日現在、コシヒカリの生育は、前年並みに早く進んでいる。草丈は長く(指標値比127%)、葉数は多く(同比137%)、過剰生育により倒伏や品質低下が懸念される。こしいぶきもコシヒカリ同様に草丈が長く、葉数が多くなっている。(上越農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(岩船) 6月20日現在、高温の影響で生育が進んでおり、草丈はやや長～長く、葉数は地域差はあるものの、平年よりやや多～多く、葉数は並～やや早、葉色は指標値並～やや濃くなっている。(岩船農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(長岡) 6月20日現在、生育ステージは早まっている。コシヒカリの生育は、指標値に比べ草丈は長く(指標値比118%)、葉数は多く(同比122%)、葉数は早い(同差+1.1)、葉色はやや濃い(同差+1.6)。6月15日現在、コシヒカリの幼穂形成期は、昨年並の7月10日と予想される。(長岡農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(南魚沼) 6月20日現在、草丈は長く(41cm 指標値比118%)、葉数は多く(415本/m² 同比149%)、葉色は濃く(SPAD値40.9 同差+0.9)。(南魚沼農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(南魚沼) 6月20日現在、過剰生育傾向となっている。(南魚沼農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(柏崎) 6月20日現在、平地コシヒカリは指標値と比べ、草丈：長、葉数：多、葉色：並。中山間地コシヒカリは生育順調。こしいぶきは葉数が多く、過剰生育傾向。(柏崎農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(新潟) 6月20日現在、コシヒカリ、こしいぶきとも指標値と比べ、草丈はやや長～並、葉数はやや多～並、葉数はやや多～並、葉色はやや濃い～並。生育は全般的に良好だが、地域差が大きく、一部で過剰生育になっている。出穂期は、平年より2日早まる予想される。(新潟県農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(魚沼) 田植え後の好天により、葉数は順調に増えており、生育が早まっている。(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月1日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・注情報—斑点米カメムシ類(アカヒゲホミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ)が、県内全域で平年と比べて多いと予報(新潟県病害虫防除所 6月29日公表)
富山	<p>・生育観測データ(6月28日現在)</p> <p>(コシヒカリ) 平年に比べ、葉齢がやや進んでおり、草丈は長く、葉数、葉色は平年並みとなっている。生育量の平均値は、131と概ね平年並みであるが、100から152とばらつきが大きくなっている。幼穂形成期は、平年より1日程度早い7月12日頃と見込まれる。</p> <p>(でんたか) 平年に比べ、葉齢がやや進んでおり、草丈は長く、葉数、葉色は平年並みとなっている。幼穂形成期は、平年より4日早い6月28日となった。出穂期は、7月18日頃と見込まれる。</p> <p>(でんこも) 平年に比べ、葉齢がやや進んでおり、草丈は長く、葉数、葉色は平年並みとなっている。幼穂形成期は、平年より4日程度早い7月12日頃と見込まれる。</p> <p>(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月28日付)</p> <p>・直達情報(6月28日現在)</p> <p>湛水士中直達栽培(カハバー)の生育は、平年に比べ、葉齢は進んでおり、草丈は長く、葉数はやや多く、葉色は平年並みとなっている。</p> <p>湛水表而直達栽培(鉄)の生育は、近年に比べ、葉齢はやや進んでおり、草丈はやや長く、葉数は多く、葉色はやや濃くなっている。</p> <p>(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月28日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紋枯病、斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予報(農林水産省 6月21日付) ・注情報—斑点米カメムシ類の発生が県下全域で多いと予報(富山県農林水産総合技術センター 6月21日公表) ・6月の葉いもちは平年並、紋枯病は多いと予報。斑点米カメムシ類の発生量は、アカヒゲホミドリカスミカメはやや多く、アカスジカスミカメは多く、トゲシラホシカメムシは平年並の予報。コカイイガの発生量は平年並、イネミズゾウムシはやや多く、イネドロオオムシは少なく、ツマゴロヨコバエは平年並の予報(富山県農林水産総合技術センター 6月1日公表)
石川	<p>(6月28日現在の生育状況)</p> <p>・ゆめみづほの出穂期は、加賀地域の平坦部で7月14～16日頃と近年に比べ3～4日程度早く、前年並、加賀地域の山間部では7月11日頃と近年に比べ2日程度早まる予想される。能登地域(羽咋～中能登)では7月16～21日頃と近年に比べ3～6日程度、前年比で1～2日程度早まる予想される。奥能登地域の能登ひかりは、7月18～23日頃と平年および近年に比べ2日程度早まる予想される。</p> <p>・コシヒカリの葉齢は、加賀地域で10.9葉(平年10.7葉)、能登地域で10.7葉(平年10.3葉)、県平均では10.8葉(平年10.5葉)となっている。コシヒカリは平年比105%(加賀地域104%、能登地域108%)と平年並、ゆめみづほは近年比109%(加賀地域108%、能登地域112%)と平年並、葉齢が進んでおり、草丈は長く、葉数は多く、葉色は平年並と見込まれる。なお、加賀地域の圃場や能登地域の生育の早い圃場では幼穂が確認されている(幼穂長0.2～0.3mm)。</p> <p>・草丈は、コシヒカリは平年比105%(加賀地域104%、能登地域108%)と平年並、ゆめみづほは近年比109%(加賀地域108%、能登地域112%)と平年並、葉齢が進んでおり、草丈は長く、葉数は多く、葉色は平年並と見込まれる。なお、加賀地域の圃場や能登地域の生育の早い圃場では幼穂が確認されている(幼穂長0.2～0.3mm)。</p> <p>・ゆめみづほは、コシヒカリは平年比98%(加賀地域98%、能登地域99%)と平年並、ゆめみづほは近年比98%(加賀地域99%、能登地域97%)と近年並となっている。県下の調査地点の内、コシヒカリの約8割、ゆめみづほは全ての圃場で、最高分けつ期を経過している。</p> <p>・コシヒカリの葉色は4.0(葉色板値)と低下傾向にあり平年(4.2)と比べやや淡い。</p> <p>(石川県農林水産部農林総合研究センター 6月28日調査)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点米カメムシ類の発生が「多い」、紋枯病の発生が「やや多い」と予報(農林水産省 6月21日付) ・6月下旬～7月上旬の葉いもちの発生量は平年並、紋枯病の発生量はやや多いと予報。斑点米カメムシ類の発生量は多く、セジロウソウカ、コカイイガ、フタオビコヤガの発生量は平年並と予報。 ・注情報—斑点米カメムシ類の発生量が県内全域で多いと予報(石川県農林総合技術センター 6月16日公表)

生育状況等		間左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
福井	<p>・6月22日現在、移植のコシヒカリは平年並みの生育。直穂は葉数がやや多め。4月25日植えのハナエチゼンで6月20日に幼穂形成期となっている。葉数は、5月20日植えのコシヒカリで平均27.8本/株、5月9日播種の直穂コシヒカリで430本/m²。（水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月23日付）</p> <p>(生育)</p>	<p>・注意報一斑点米カメムシ類の発生量が平年より多い（前年よりやや少ない）と予報（福井県農業試験場 6月28日公表）</p> <p>・紋枯病の発生が「多い」と予報（農林水産省 6月21日付）</p> <p>・6月のはいもち病、紋枯病の発生量は平年より多く、ニカメイガ、イネミズゾウムシ、イネゾウムシ、イネドロオウムシ、イネヒメハモグリバエの発生量は平年より少ないとの予報（福井県農業試験場 5月30日公表）</p>
長野	<p>・6月16日現在、豊利定点圃場（5月16日田植）では、草丈は平年よりやや長く、葉数は平年並～やや少ない傾向。活着～初期生育は概ね良好で、5月上旬に移植された水田では、過剰分けつ気味の水田もある。（松本農業改良普及センター）</p> <p>(生育)</p>	<p>・紋枯病、斑点米カメムシ類の発生が「やや多い」と予報（農林水産省 6月21日付）</p> <p>・向こう1ヶ月間の葉いもち、縹葉枯病・黒葉萎縮病、ツマグロヨコバイ、イネドロオウムシの発生量は平年並、ニカメイチュウ第1世代、イネミズゾウムシの発生量はやや多く、イナゴの発生量は平年並～やや多いと予報（長野県病害虫防除所 6月15日公表）</p>
滋賀	<p>・6月20日現在の草丈は、「コシヒカリ」、「秋の詩」ともに平年より約1割長かった。葉数は、両品種ともに平年並であった。葉数は、「コシヒカリ」が0.8枚、「秋の詩」が0.5枚平年より多かった。生育は全般に旺盛で、平年よりやや早い。「コシヒカリ」では、5月10日移植の幼穂形成期は、7月2日頃と予測される。</p> <p>・4月下旬～5月上旬移植の「みずかがみ」の幼穂形成期は、6月27日前後の見込み。5月中旬移植の「みずかがみ」の幼穂形成期は、6月末～7月初旬の見込み。（滋賀県農業技術普及センター 6月23日付）</p> <p>(生育)</p>	<p>・葉いもちの発生量は平年並、紋枯病の発生量はやや多く、コバネイナゴの発生量はやや少ないと予報（滋賀県病害虫防除所 6月21日公表）</p>
兵庫	<p>・5月26日現在、県北は本田での生育は順調、県南は苗の生育は順調。（兵庫県農政環境部 5月30日付）</p> <p>(生育)</p>	<p>・ヒメトビウカの発生が「やや多い」と予報（農林水産省 6月21日付）</p> <p>・6月の葉いもちの発生量は平年並、ヒメトビウカ、セジロウカ、トビウカの発生量はやや多いとの予報（兵庫県病害虫防除所 6月2日公表）</p>
岡山		<p>・7月の葉いもち、穂いもち、紋枯病の発生量はやや多く、縹葉枯病の発生量は平年並、ヒメトビウカとツマグロヨコバイの発生量はやや多く、ニカメイガ、セジロウカ、トビウカの発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量は少ない予報（岡山県 6月30日公表）</p>
広島		
山口	<p>・5月上旬の移植では、葉数は昨年とほぼ同様の状況。5月下旬以降移植分の活着は良好。移植後の高温、根腐みでの葉の黄化などが一部みられる。移植して浸水が継続しているところは、徒長気味の生育になっている。（JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月11日付）</p> <p>(生育)</p>	<p>・イネいもち病の発生量は県内全域で多いと予想（山口県病害虫防除所 6月20日公表）</p> <p>・6月の縹葉枯病の発生量は平年並の予報（山口県病害虫防除所 6月1日公表）</p>
愛媛	<p>・普通期水稲の平坦地における移植適期は、にこまるが6月中旬、ヒノヒカリが6月中下旬。（愛媛県農林水産研究所 5月31日付）</p> <p>(田植)</p>	<p>・6月のいもち病（葉いもち）の発生量は平年並～やや多く、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウカ、セジロウカ、トビウカの発生量は平年並と予報（愛媛県病害虫防除所 5月30日公表）</p>
高知	<p>・早期水稲（6月17日現在） 最高分けつ期は、「南園そだち」がやや早く、「コシヒカリ」は平年並み。同期における草丈は、「南園そだち」が平年並み、「コシヒカリ」はやや長くなっている。葉数は、「南園そだち」が少なく、4月5日植え「コシヒカリ」は平年並み、4月14日植え「コシヒカリ」が少なくなっている。 出穂期は、4月5日植え「南園そだち」は6月16日、また、幼穂形成期後日数より推定した「コシヒカリ」の出穂期は、4月5日植えで6月25日、4月14日植えで7月2日となっている。いずれの品種、作型とも平年より4～7日早くなる模様。</p> <p>・普通期水稲（6月17日現在） 6月3日植え「ヒノヒカリ」は、草丈は平年並みで、葉数が平年よりやや少なめ、葉齢で見た生育進捗は平年並み。（高知県農業技術センター 6月22日付）</p> <p>(生育)</p>	<p>・6月のいもち病の発生量は平年並、ツマグロヨコバイの発生量は県中央部で多く、県東、県中西部、県西部では平年並、セジロウカ、ヒメトビウカの発生量は平年並と予報（高知県病害虫防除所 6月3日公表）</p>
福岡	<p>・早期水稲（夢つくし、コシヒカリ） 田植え時期は平年並みで、5月15日には終了している。田植え後の高温より初期生育は順調。</p> <p>・普通期水稲（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリ） 苗の生育は順調。高温対策のため田植えは「夢つくし」が6月上旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」が6月下旬を中心に行われる見込み。（福岡県農林業総合試験場 平成28年5月16日専技情報より抜粋）</p> <p>(田植)</p>	<p>・イネ縹葉枯ウイルス保毒虫率の保毒虫率は、平均1.1%で、年々低下傾向にある。（福岡県病害虫防除所 6月1日）</p>
熊本		<p>・7月の早期水稲の穂いもちの発生量はやや多いと予報。早植え水稲の葉いもち、普通期水稲の葉いもちの発生量は平年並、早植え・普通期水稲のセジロウカの発生量は平年並の予報（熊本県病害虫防除所 6月30日公表）</p>
宮崎	<p>・早期米生育状況 分けつ前期を迎えており、平年より1日早い進捗。草丈はやや高く、葉数は平年並みで、やや徒長気味ではあるが、概ね順調に生育している。（JA宮崎経済連ホームページ「平成28年産早期米生育情報」6月7日付）</p> <p>・早期水稲 5月1日現在の生育ステージ（県全体） 分けつ前期～分けつ期を迎えており、平年よりやや早い進捗。草丈は平年より高く、葉数は平年並み、葉齢は平年より早く進んでいる。気温が高く日照時間が短くなっているところでは、草丈が高くなっているが、生育は概ね順調。 （中部地区）分けつ前期で、平年より1日早い進捗。草丈は平年より高く、葉数は平年並み、葉齢は平年よりやや早く進んでいる。生育は概ね順調。 （南那珂地区）分けつ前期で、平年より3日程早い進捗。気温が高く日照時間が長くなっていることから、草丈が高くなっている。病害虫等の障害も少なく、生育は概ね順調。 （児湯地区）分けつ前期で、平年並みの進捗。4月下旬は平年より降水量が多く、日照時間が短くなった。28日以降は晴天が続き、生育スピードが回復しつつあるが、3月中旬に移植した地域では分けつ数が少なく、草丈は高くなっている。 （東臼杵南部地区）分けつ期で、平年より1～2日程早い進捗。日照時間は平年に比べて少ないものの、平均気温は平年に比べて高く、分けつも旺盛で生育は良好。降水量は平年より多く推移している。（JA宮崎経済連ホームページ「宮崎県産早期米産地情報」6月7日付）</p> <p>(生育)</p>	<p>・早期水稲 病害虫の発生量の平年比は、葉いもちはやや多く、紋枯病は平年並、ツマグロヨコバイはやや多く、セジロウカはやや多く、ヒメトビウカと斑点米カメムシ類はやや多く、ヒメトビウカは平年並の予報。</p> <p>・普通期水稲 病害虫の発生量の平年比は、葉いもちはやや多く、ツマグロヨコバイ、セジロウカ、ヒメトビウカは平年並、スクミリンゴガイの発生量はやや少ないと予報。（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月24日公表）</p>
鹿児島		<p>・7月の早期水稲のいもち病（穂いもち）の発生量はやや多く、紋枯病の発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報。 普通期水稲のいもち病（葉いもち）の発生量はやや多いと予報。（鹿児島県病害虫防除所 6月29日公表）</p>

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標				収穫量（主食用） 27年度	作況指数 27年度
		平成28年度	前年度との比較	増減率	自主的取組参考値（深緑）		
		t	t	%	t		
全 国	<ul style="list-style-type: none"> 7月2日～8月1日の1か月間は、北・東日本と沖縄・奄美では、期間の前半は気温がかなり高くなる所があり、向こう1か月の気温は、全国的に高い見込み。北日本では、期間の前半は、日照時間の少ない状態が続く見込み。 北日本と東日本日本海側では、平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 東日本太平洋側では、平均気温は高く、降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 西日本では、平均気温は高く、降水量は日本海側で平年並が多く、太平洋側でほぼ平年並、日照時間は、日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 （気象庁 6月30日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 北海道を除く各地方で、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （気象庁 6月16日発表） 2014年夏に発生したエルニーニョ現象は、2016年春に終息したとみられる。 今後、夏の間にラニーニャ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高い。 インド洋熱帯域の海面水温は基準値より高い値が続いており、今後秋にかけて次第に基準値に近づくと予測される。 （気象庁 地球環境・海洋部 6月10日発表） （7～9月の3か月間の見通し） 向こう3か月の気温は、東・西日本と沖縄・奄美で高く、北日本では平年並か高い見込み。北日本と東日本日本海側では、向こう3か月の降水量は平年並か多い見込み。 7月は、北日本では、平年に比べ曇りや雨の日が多く、東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側と西日本では、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込み。 8月は、北日本では、天気は数日の周期で変わり、東・西日本では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 9月は、北・東日本と西日本日本海側では、天気は数日の周期で変わり、西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 （気象庁 6月24日発表） 	7,430,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,350,000	7,442,000	104
北 海 道	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の7月2日～8月1日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があり、1か月の平均気温は高い見込み。日照時間は、期間のはじめは少ない状態の続く所があり、向こう1か月の日照時間は平年並か少ない見込み。降水量は平年より多い見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 東北地方では、7月7日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.1℃以上） （札幌管区気象台 6月30日発表） 	541,500	▲ 5,830	▲ 1.1	535,669	559,600	104
青 森	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方の7月2日～8月1日の1か月間は、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があり、向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は多い見込み。期間の前半は日照時間の少ない状態が続く。向こう1か月の日照時間は平年並か少ない見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 東北地方では、7月5日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.2℃以上） 今後1週目から2週目にかけて、気温の高い状態が続く見込み。 （仙台管区気象台 6月30日発表） 	239,877	▲ 2,583	▲ 1.1	237,294	229,800	105
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月30日発表）	268,321	▲ 2,889	▲ 1.1	265,432	269,400	105
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月30日発表）	344,906	▲ 3,714	▲ 1.1	341,193	348,400	103
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月30日発表）	413,092	▲ 4,448	▲ 1.1	408,644	419,400	103
山 形	同上（仙台管区気象台 6月30日発表）	340,830	▲ 3,670	▲ 1.1	337,160	354,300	103
福 島	同上（仙台管区気象台 6月30日発表）	335,933	▲ 3,617	▲ 1.1	332,316	342,600	101
茨 城	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の7月2日～8月1日の1か月間は、気温は高く、降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。期間の前半は、少雨の状態が続く所がある見込み。 （気象庁 6月30日発表） 農業用水で、鬼怒川、利根川、江戸川、神流川では10%取水制限中。渡良瀬川では20%取水制限中。 （国土交通省 6月27日現在） 	333,776	▲ 3,594	▲ 1.1	330,182	345,400	96
栃 木	<ul style="list-style-type: none"> 同上（気象庁 6月30日発表） 同上（国土交通省 6月27日現在） 	295,508	▲ 3,182	▲ 1.1	292,326	287,300	98
埼 玉	<ul style="list-style-type: none"> 同上（気象庁 6月30日発表） 同上（国土交通省 6月27日現在） 	149,659	▲ 1,611	▲ 1.1	148,047	152,200	97
千 葉	<ul style="list-style-type: none"> 同上（気象庁 6月30日発表） 同上（国土交通省 6月27日現在） 	243,864	▲ 2,626	▲ 1.1	241,239	297,500	101
新 潟	<ul style="list-style-type: none"> 北陸地方の7月2日～8月1日の1か月間は、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みで、向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 北陸地方では、7月5日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.3℃以上） （新潟地方気象台 6月30日発表） 	515,737	▲ 5,553	▲ 1.1	510,184	539,600	97
富 山	同上（新潟地方気象台 6月30日発表）	183,672	▲ 1,978	▲ 1.1	181,695	191,200	103
石 川	同上（新潟地方気象台 6月30日発表）	122,313	▲ 1,317	▲ 1.1	120,996	123,200	101

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
福井	同上（新潟地方気象台 6月30日発表）						
長野	・関東甲信地方の7月2日～8月1日の1か月間は、気温は高く、降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。期間の前半は、少雨の状態が続く所がある見込み。 （気象庁 6月30日発表）	124,124	▲ 1,336	▲ 1.1	122,787	123,800	99
滋賀	・近畿地方の7月2日～8月1日の1か月間は、気温は高い見込み。2週目は日本海側を中心に梅雨前線の影響を受けやすい見込み。降水量は日本海側で平年並が多く、太平洋側でほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （大阪管区気象台 6月30日発表）	191,933	▲ 2,067	▲ 1.1	189,867	194,500	97
兵庫	同上（大阪管区気象台 6月30日発表）	158,741	▲ 1,709	▲ 1.1	157,032	158,500	100
岡山	・中国地方の7月2日～8月2日の1か月間は、1週目の気温は高く、2週目は平年並が高く、向こう1か月前半平均した気温も高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （広島地方気象台 6月30日発表）	178,518	▲ 1,922	▲ 1.1	176,596	178,900	99
広島	同上（広島地方気象台 6月30日発表）	156,861	▲ 1,689	▲ 1.1	155,172	149,500	96
山口	・九州北部地方（山口県含む）の7月2日～8月1日の1か月間は、気温は高くなる見込み。降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 6月30日発表）	128,585	▲ 1,385	▲ 1.1	127,201	121,700	96
愛媛	・四国地方の7月2日～8月1日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 （高松地方気象台 6月30日発表）	107,601	▲ 1,159	▲ 1.1	106,443	100,700	97
高知	同上（高松地方気象台 6月30日発表）	73,133	▲ 787	▲ 1.1	72,345	71,200	98
福岡	・九州北部地方（山口県含む）の7月2日～8月1日の1か月間は、気温は高くなる見込み。降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 6月30日発表）	49,537	▲ 533	▲ 1.1	49,003	52,800	96
熊本	同上（福岡管区気象台 6月30日発表）	180,526	▲ 1,944	▲ 1.1	178,582	172,300	95
宮崎	・九州南部地方の7月2日～8月7日の1か月間は、気温は高くなる見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （鹿児島地方気象台 6月30日発表）	187,293	▲ 2,017	▲ 1.1	185,277	171,500	97
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 6月30日発表）	92,603	▲ 997	▲ 1.1	91,606	74,700	93
		109,887	▲ 1,183	▲ 1.1	108,704	95,700	95

参考資料:

平成28年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成27年度水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成28年度病害虫発生予報第3号(農林水産省)

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月20日)、農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月20日)、農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月20日)
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月20日)、
病害虫発生予察情報第6号7月予報(北海道病害虫防除所 6月30日)、
H28水稲作況(6月20日現在)(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月21日)、稲作生産情報第4号(青森県 6月24日)、
平成28年度病害虫発生予報第4号(7月予報)(青森県病害虫防除所 6月29日)、
平成28年度水稲生育定期調査結果No.3(6月24日現在)(岩手県農業研究センター 6月27日)、平成28年度水稲の生育状況(6月15日調査速報)(岩手県 6月16日)、
平成28年度農作物病害虫防除速報No.6水稲編-2(岩手県病害虫防除所 6月13日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第4号(7月予報)(岩手県病害虫防除所 6月29日)、
平成28年度水稲の生育状況について(6月20日現在)(宮城県農林水産部 6月21日)、平成28年度発生予察情報発生予報第5号-水稲-(宮城県病害虫防除所 6月22日)、
仙台稲作情報第1号(宮城県仙台農業改良普及センター 6月13日)、平成28年度稲作情報第2号(宮城県亶理農業改良普及センター 6月13日)、
平成28年度大崎稲作情報第3号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月22日)、平成28年度産南稲作情報(第3号)(宮城県大原農業改良普及センター 6月28日)、
稲作情報Vol.3(本吉農業改良普及センター 6月21日)、栗原の稲作通信平成28年第3号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月23日)、
登米地域の稲作通信第4号(宮城県登米農業改良普及センター 6月23日付)、平成28年度産美里地区の稲作情報第3号(宮城県美里農業改良普及センター 6月23日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 6月24日)、
平成28年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所 5月27日)、
米づくり技術情報NO.4(オールやまがた米づくり日本一運動本部 県産米ブランド推進課 6月20日)、
酒田・飽海日本一米づくり情報第6報(酒田農業技術普及課 6月23日)、
つや姫通信第2号(村山総合支庁農業技術普及課 6月22日)、
稲作だより第5号(村山総合支庁産業経済部北村山農業技術普及課 6月22日)、稲作だより第7号-本田初期編(最上総合支庁農業技術普及課 6月24日)、
おいしい米づくり情報第8号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日)、おきたまづくり情報No.5(置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課 6月22日)、
水稲直播情報第3号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月14日)、
平成28年度農作物有害動植物発生予察情報発生予報第4号(7月)(山形県病害虫防除所 6月29日)、
主要な農作物の生育情報平成28年度第3号(福島県農林水産部 6月16日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第3号(6月)(福島県病害虫防除所 6月29日)、
平成28年度病害虫発生予察情報注意報第3号(福島県病害虫防除所 6月29日)、
農研速報(水稲の生育状況)(6月20日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 6月21日)、(6月16日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 6月21日)、
病害虫発生予察注意報第1号(茨城県病害虫防除所 6月9日)、
病害虫発生予報5月号(茨城県病害虫防除所 4月28日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月20日)、
平成28年度病害虫発生予察注意報第1号-植物防疫ニュース(速報No.3)(栃木県農業環境指導センター 6月1日)、
平成28年度水稲生育診断予測事業速報No.3(栃木県農政部 6月24日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(栃木県農業環境指導センター 6月17日)、
平成28年度水稲の生育概況vol.1(埼玉県農業技術研究センター 6月8日)、
平成28年度病害虫発生予報第3号(7月予報)(埼玉県病害虫防除所 6月29日)、水稲の生育状況と当面の対策第3報(千葉県農林水産部 6月17日)、
平成28年度病害虫発生情報第1号(千葉県農林総合研究センター 6月9日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(千葉県病害虫防除所 6月9日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第2号)(新潟県農林水産部 6月21日)、
平成28年度水稲売れる米づくり水稲生育情報No.3(糸魚川地域農林振興部 6月21日)、平成28年度稲作生育速報No.3(佐渡農業普及指導センター 6月20日)、
水稲技術情報No.5(新発田農業普及指導センター 6月24日)、新発田地域水稲生育速報No.3(新発田農業普及指導センター 6月20日)、
売れる米づくり技術対策資料 No.3(新潟農業普及指導センター 6月23日)、新潟稲作速報No.3(新潟農業普及指導センター 6月20日)、
水稲生育速報(巻農業普及指導センター 6月20日)、岩船米生育速報(6月20日現在)(村上農業普及指導センター)、
号外AX稲作速報(三条農業普及指導センター 6月24日)、FAX稲作速報No.7(三条農業普及指導センター 6月20日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月20日)、南魚沼地域水稲生育速報(南魚沼農業普及指導センター 6月20日)、
稲作管理情報3(柏崎農業普及指導センター 6月20日)、平成28年上越地域米水稲生育速報(6月20日)(上越農業普及指導センター 6月20日)、
平成28年度「上越地域米」栽培技術情報 No.5(上越農業普及指導センター 6月22日)、水稲生育速報No.3(新津農業普及指導センター 6月20日)、
稲作情報「JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月1日付)、平成28年度病害虫発生予察情報・注意報第1号(新潟県病害虫防除所 6月29日)、
平成28年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 5月31日)、
TACS情報第5号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月28日)、直播情報(第4号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月28日)、
病害虫発生注意報第1号(富山県農林水産総合技術センター 6月21日)、病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 6月1日)、
平成28年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-6号)(石川県農林総合研究センター 6月30日)、
病害虫発生予報第3号・注意報第1号(石川県農林総合研究センター 6月16日)、
稲作情報No.8(福井県 水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月22日)、平成28年度農作物病害虫発生予察予報第4号(福井県農業試験場 5月30日)、
平成28年度農作物病害虫発生予察注意報第1号(福井県農業試験場 6月28日)、
平成28年度農作物技術普及情報第9号(松本農業改良普及センター)、
稲作ワンポイントアドバイス(No1)(JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月11日)、
病害虫発生予報第3号(長野県病害虫防除所 6月15日)、
平成28年度水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月23日)、平成28年度病害虫発生予報第5号(滋賀県病害虫防除所 6月21日)、
平成28年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 5月30日)、平成28年度病害虫発生予察予報第2号(兵庫県病害虫防除所 6月2日)、
平成28年度病害虫発生予報第4号(岡山県病害虫防除所 6月30日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所 6月1日)、
平成28年度農作物病害虫発生予察技術資料第2号(山口県病害虫防除所 6月20日)、
気象情報に基づく技術対策-作物(愛媛県農林水産研究所 5月31日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県病害虫防除所 5月30日)、
平成28年度における水稲の生育状況(6月17日時点)(高知県農業技術センター 6月22日)、
平成28年度病害虫発生予報第3号(6月)(高知県病害虫防除所 6月3日)、
平成28年度病害虫発生予察速報第1号について(福岡県病害虫防除所 6月1日)、
福岡県的主要農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 4月15日)、平成28年度病害虫発生予報第4号(7月予報)(熊本県病害虫防除所 6月30日)、
平成28年度産宮崎産早期米産地情報(平成28年5月1日現在)・平成28年度産早期米生育状況(宮崎経済連ホームページhttp://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html 6月7日)、
平成28年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所)・肥料検査センター 6月24日)、平成28年度病害虫発生予報第4号(7月)(鹿児島県病害虫防除所 6月29日)、
平成28年度技術情報第7号(鹿児島県病害虫防除所 6月6日)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)、
エルニーニョ監視速報(No. 285)(気象庁地球環境・海洋部 6月10日)
平成28年度渇水状況について(6月27日0時現在)(国土交通省 平成28年 6月27日)